



今年も継続する青少年海外派遣(昨年タイ国にて)

町長に聞きました

今年度(平成22年度)予算の基本的な編成方針は?

町議会3月定例会で、今年度の当初予算案が可決されました。

一般会計予算は34億円で、昨年に比べ22・6%と非常に大きな伸びを示しました。

そこで、今年の予算編成にあたっての基本的な考えを、町長にインタビューしました。

今年度の予算が、3月の定例会で成立しましたが、今年度予算についての感想はいかがですか。

町長 今年度予算は、私の任期最後の予算ということで、感慨深いものがあります。

今、町の財政は、国の内需拡大政策による好景気にさええられて、好転をしています。

このような時期に、前年度に比べて22・6%増加の34億円という積極通年型の一般会計予算を組めたことを喜ばしく思っています。

このような背景として、一般会計で約19億3千万円の積立金が確保でき、中期的に町財政の基盤ができたことも挙げられます。

では、積極型予算となった要因はどのような点にあるのでしょうか。

町長 特に、光スポーツ公園ですね。今年度と3年度で公園の施設整備を行うのですが今年度は約8億円を予算計上しています。

また、その他の投資的な事業、例えば道路改良なども継続して行うことが原因だと思っています。

今年度予算の基本的な編成方針をお聞かせ下さい。

町長 私は4年間町政を担当してきましたが、今進めている基本施策を軸として、住民参加による町づくりを旨とせば、必ず町の21世紀の展望は大きく開けてくると確信しています。行政は継続性が大切です。これから21世紀を迎えるまでの10年が本場の正念場で、更に力強い攻めの行政を推進するための予算を編成したいと思いました。

予算編成の流れ
今年度の予算は、昨年の暮れから次のような手続きを経て成立しました。

